

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる生徒

校長室だより
 第 12 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

奏でられた熊中ハーモニー

一人一人が光輝いた文化祭

十月三十日(生徒展示
 見学のみ十一月一日)、文
 化祭を開催しました。今
 年のスローガンは、「奏でよ
 う」心に響くハーモニー
 』です。このスローガンに
 は、合唱等で感動を届け
 たい、そして熊中にしかで
 きない、心のハーモニーを
 みんなでつくりあげたいと
 という思いが込められていま
 す。全校生徒で真剣に話
 し合つて、決めてくれまし
 た。

その甲斐があつて、当日
 は、どの学年もすばらしい
 ステージ発表や展示を披
 露することができました。



まず、本校が誇る全校
 合唱は、「明日への翼」と校
 歌の二曲でしたが、全校
 生徒で心を一つにして、美
 しいハーモニーを奏でてく
 れました。

一年生のステージ発表で
 は、合唱・リコーダー演奏
 のほかに、群読もあり、
 「無限の可能性に向かつて
 生きていこう」と、力強い
 メッセージを届けてくれま
 した。

二年生は、群読「平家物
 語」に取り組み、昨年度よ
 りさらにステップアップし
 た群読によつて、古典の世
 界をみごとに表現してく
 れました。

三年生は、合唱のほか
 に、学級演劇にも取り組
 みました。さすが三年生。
 役者は熱演し、スタッフも
 縁の下で劇を支えてくれ
 ました。



五組は、今までの和太鼓

とは違つて、今年はトーンチ
 ヤイムに挑戦しました。その
 他に、毎年好評の合唱部の
 ステージ発表と、英語科の
 イングリッシュコンテストの発
 表もありました。

また、各教科や総合的な
 学習の時間の作品、美術部
 の展示もありました。また、
 各教科のおすすめのノート
 も展示し、とても充実してい
 ました。

国語科県大会を開催

十一月十日(木)、福岡県
 中学校国語科研究大会が
 本校でありました。

当日は、三年二組(靄眞
 理子先生)二年二組(大石
 仁美先生)、一年三組(日淺
 俊子先生)の国語科授業、
 二年生の群読「平家物語」を
 参観していただきました。県
 内からは、一九三名の先生
 方の参加がありました。本
 国語科授業だけでなく、本



お忙しい中、足をお運
 びいただいた保護者や地
 域の方々に厚くお礼申し
 上げます。



校の生徒・先生方のすば
 らしさをたくさんほめてい
 いただきました。